



《2010 秋の縄文野焼き祭り》

■猪風来美術館恒例の「秋の縄文野焼き祭り」も今年で5年目を迎えます。窯を使わずに天と地、太陽と風と火の力によって焼きあげる縄文野焼き。それは焼物の原点というだけではなく、独自の造形と文様にこめられた精神性は時代をこえて現代の人々をも魅了しています。世の豊饒としあわせを祈り、命と魂の躍動する縄文文様ならではの力です。作品は縄文土器、土偶、縄文シーサーなど約300点。新見市内の小学校の支会活動での作品をはじめ、陶芸教室参加者の皆さんの作品などをみんなで焼き上げます。秋の一日、自然豊かな山あいにもまれて、縄文野焼きの炎が見せる醍醐味をみなさん体験しましょう。

〈縄文野焼き大賞〉

■縄文野焼き祭りで焼き上がったすべての作品を対象に、今回から「縄文野焼き大賞」が選ばれ表彰されます。それぞれ、賞状や記念品が贈呈されます。

縄文土器の上で躍動する大胆な渦の文様、大きく口をあけたユーモラスなシーサー、なにやら自分の顔に似たような縄文土面……。野焼きの炎で焼かれ、あたたかみのある赤みや力強い黒色など、炎の色の新しい肌合いと命が宿ります。どの作品も創意工夫にあふれ、縄文ならではの感動を味わえると思います。

- 縄文野焼き大賞 1点
- 新見市教育長賞 1点
- 猪風来美術館館長賞 1点
- 法曾焼同好会会長賞 1点

入賞者の作品や参加者の作品は、12月からの5周年記念特別企画展で展示予定です。

〈縄文体験コーナー〉

■縄文土器で煮炊きをしよう!

昔、縄文土器は煮炊き用の鍋として使われていました。尖った土器の先端を土や灰に突き刺し、そのまわりに薪をつんで燃やして猪汁を作ります。野生的な味わいを堪能しよう。

(12時頃～/無料)

■にぎり地蔵をつくろう!

願い、祈りを込めて粘土をにぎり、竹べらで目や鼻を入れます。つくる人も地蔵さまもやさしいお顔に。(随時/300円)

■まが玉をつくろう!

まが玉は生命の根源のかたち。しあわせを祈り魔を祓う力が宿っています。

- 「粘土でつくろう」(随時/200円)
- 「石でつくろう」(随時/黒・ピンク・白各500円)



〈販売コーナー〉

■地元の法曾焼同好会によりお弁当・飲み物を販売いたします。

右下にぎり地蔵(イラスト)
縄文土器での煮炊き

右野焼き風景(2009年度秋)



- 日時 10月24日(日)午前9時～午後4時
※雨天時 10月31日
- 会場 猪風来美術館前広場
入場無料(館内は観覧料が必要です)
- 主催 新見市・新見市教育委員会
猪風来美術館(新見市法曾陶芸館)・法曾焼同好会
- 問い合わせ先 猪風来美術館
〒719-2552 岡山県新見市法曾 609
TEL・FAX 0867-75-2444



- アクセス
岡山から車で約90分
岡山空港から車で約70分
賀陽ICから車で約45分
新見ICから車で約30分
井倉駅からタクシーで約15分
方谷駅からタクシーで約10分

猪風来美術館
新見市法曾陶芸館
<http://www.ifurai.jp/>